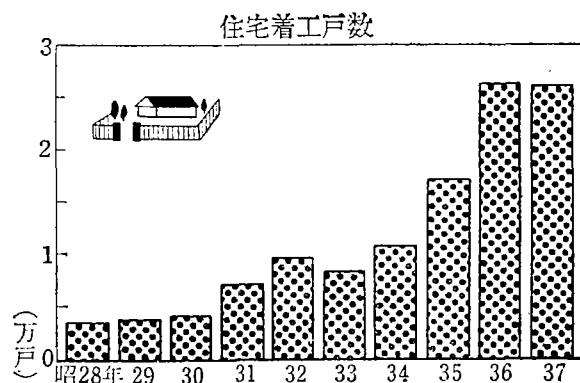


46. 住宅着工状況

戦災後住宅の再建はめざましく、その着工戸数は年々増加し昭和37年には26千戸、延面積123万平方メートル着工された。これを30年に比較すると戸数で6倍強の増加である。しかし前年とくらべるとやや減少した。このことは国（公団を含む）の機関にある着工が減ったためによるものと思われる。

つぎに住宅の種類別を戸数で見ると専用住宅が93%併用住宅7%となり、また利用関係別では持家42%、貸家48%、給与住宅8%の順となり、持家は順調な増加率を示しているが貸家は減少した。これは公団住宅等の本県への建築が減少したことにあるものと考えられる。



(単位 延面積m²)

年	総 数		住 宅 の			
			専 用 住 宅		併 用 住 宅	
	戸 数	延 面 積	戸 数	延 面 積	戸 数	延 面 積
昭和27年	3 091	159 399	2 233	103 128	849	55 484
28	3 342	179 677	2 494	117 934	844	61 540
29	3 896	197 340	3 252	150 678	644	46 661
30	4 195	221 651	3 357	159 402	829	61 918
31	7 059	368 197	5 577	258 600	1 468	108 368
32	9 571	475 706	8 217	372 685	1 353	102 929
33	8 371	410 017	7 188	311 817	1 183	98 200
34	10 775	516 559	9 561	412 566	1 214	103 993
35 1)	17 104	808 615	15 499	664 628	1 605	143 987
36 1)	26 440	1 252 470	24 586	1 057 170	1 854	195 300
37 1)	26 347	1 233 440	24 590	1 055 693	1 745	176 699

年	種 類		利 用 関 係 別 戸 数			
	その他の住宅		持 家	貸 家	給与住宅	そ の 他
	戸 数	延 面 積				
昭和 27 年	9	787	2 552	414	91	34
28	4	202	2 974	180	94	94
29	—	—	2 981	610	215	90
30	9	331	3 184	512	381	118
31	14	1 229	5 038	1 091	442	488
32	1	93	5 376	1 564	767	1 864
33	—	—	5 337	1 985	628	421
34	—	—	5 946	3 469	843	517
35	—	—	8 100	6 856	1 161	987
36	—	—	9 679	14 086	2 196	479
37	12	1 048	11 176	12 519	2 025	627

建築課調 注) 1) の延面積は床面積である。